

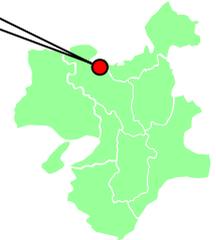
# にぎわい

## 近畿版

日本海にぎわい・交流海道ネットワーク通信

会員だより 【舞鶴市発】

舞鶴市



### 「あかしあ」 舞鶴・丹後天橋立周遊クルーズ開催

平成23年3月21日(月)、舞鶴～小樽間を就航する新日本海フェリーの「あかしあ」(総トン数 16,810トン、旅客定員 820名)により、快晴の舞鶴湾～宮津湾～天橋立～舞鶴湾の周遊クルーズが開催されました。

祝日ということもあり、多くの家族連れを含む625名が乗船し、観光ガイドボランティア「けやきの会」が航路上に現れる島々等を紹介し、初春の若狭湾を堪能しました。

船内では、「北海道ランチバイキング」で舌鼓を打ったり、エントランスでは、丹後・舞鶴・小樽の特産品や土産物の販売、船長スタイルでの記念撮影会が開催され、好評を博しておりました。

コンファレンスルームでは、地元のアカペラグループ「The Last Order」によるコンサートが行われ、また、新日本海フェリーの「特等ペア往復券」や「ホテル宿泊券」等が当たる「船内クイズラリー」が開催され、乗客の皆さんは、3時間のクルーズを十分に満喫されました。



*The Last Order*

去る3月11日に発生した「東日本大震災」の影響もあり、主催者等で実施について協議、「単に行事を自粛するのではなく、人が集う場所を設けて、皆が被災地のことを思い、義援金を受け付ける等の支援をすべきである。」との考え方で合意しました。その意向を受け、ふ頭で出航セレモニーの演奏を予定していた市内の中学校吹奏楽部は、演奏を中止し、一部の生徒が船内での募金活動を行いました。



募金活動

# にぎわい 近畿版

日本海にぎわい・交流海道ネットワーク通信

## ぱしふいっく・びいなす 「夏の佐渡島クルーズ」

平成23年7月2日(土)から7月4日(月)にかけ、ぱしふいっくびいなす(総トン数26,594トン、旅客定員644名)により京都舞鶴港発着となる「夏の佐渡島クルーズ」が行われました。



ぱしふいっくびいなす入港



出航セレモニー(吹奏学部演奏)



入港セレモニー(園児による出迎え)

7月2日(土)、曇空の中、京都舞鶴港 前島ふ頭に着岸した「ぱしふいっくびいなす」が、午後5時、旅人320名を乗せ、佐渡島へ。

出航セレモニーでは、市立白糸中学校の生徒代表から船長へ花束を贈呈するとともに、同校吹奏部約60名が演奏を行い、乗客から喝采を受けました。

同号は約200名のボランティアや「ゆるキャラ」の国文祭PRキャラクター「まゆまる」、舞鶴かにPRキャラクター「チョコまる」が見送る中、悠然と出航していきました。

船内では、「京と佐渡 そのつながり」と題し、往路では武蔵野大学客員教授の三浦裕子氏が「世阿弥と佐渡 ～能・狂言を知る楽しみ～」を、復路では山城郷土資料館副主査の伊藤 太氏が「佐渡と丹後を結ぶ物語『山椒大夫』～その伝説と史実～」を講演され、乗客のみなさんに佐渡に縁のあるお話をしていただきました。

7月4日(月)には、保育所や幼稚園の園児たちが、青いハンカチを振って出迎える入港セレモニーが行われました。

賑やかに歓待され、帰港した乗客は、洋上の楽園で、2泊3日のクルーズを堪能した様子でした。

# にぎわい 近畿版

日本海にぎわい・交流海道ネットワーク通信

## まいづるクリーンキャンペーン2011

平成23年7月10日(日)、舞鶴市全市一斉清掃日(まいづるクリーンキャンペーン2011)に合わせて、ボランティアの方々が京都舞鶴港の臨港地区及び港湾緑地の清掃活動を実施しました。

今年は15周年記念

### まいづるクリーンキャンペーン

全市一斉清掃日 平成23年7月10日(日) 2011



個人・団体等の参加者募集!

募集期間 平成23年5月16日(日)~6月30日(木)

参加申し込み 問い合わせ先 まいづるクリーンキャンペーン実行委員会  
(事務局/市役所生活環境課 ☎66-1005)

マスコットキャラクター「クリーンボーイ」

東港地区で約350名、西港地区で約80名のボランティアの方が清掃活動を実施、散乱しているごみを、燃えるごみ、カン・ビン・ペット、燃えないごみの3種類に分別して回収しました。

また、海岸線でも、地元自治会やボランティアの方々が清掃活動を行い、流れ着いた漂着ごみ等を回収し、舞鶴市全体で回収したごみの量は20トンにも及びました。



ごみ回収状況

# にぎわい 近畿版

日本海にぎわい・交流海道ネットワーク通信

## みなと舞鶴ちゃったまつり

平成23年7月30日(土)、31日(日)  
第36回みなと舞鶴ちゃったまつりを開催!



臨港地区のにぎわい

この祭りは、舞鶴地方の方言である「ちゃった」から名付けられたもので、今年で36回目となります。舞鶴音頭に乗って踊る民謡流しと花火大会をメインとして、沢山のイベントが催されました。

特に、31日には、京都舞鶴港東港周辺において、様々な催しがあり、前島ふ頭の緑地では、リサイクル・フリーマーケットが開催され、のべ約3,000人の人のにぎわいました。

海岸でも、ちゃったレガッタ(レース)が行われ、港湾関係者だけでなく、一般からの参加者を含めて、熱いレースが展開されました。

舞鶴に総監部を置く自衛隊でも、午前、午後各1回、若狭湾を周遊する体験航海が行われ、約200名の市民が参加しました。

夜、7時30分。合図の花火が打ち上げられ、花火大会が始まりました。

今年は、5,000発の花火が打ち上げられ、海水浴帰りの観光客を含め、約46,000人が夏の夜空に咲く花火を満喫しました。



花火大会

### 【編集・問い合わせ先】

日本海にぎわい・交流海道ネットワーク事務局

近畿地方整備局 港湾空港部 港湾計画課

TEL : 078-391-8361 FAX : 078-325-8288